

ERPのスマートフォン対応はSFA、勤怠、作業実績入力に関心高 エンジニア単価の下落でパッケージ製品の価格2割減

株式会社ビーブレイクシステムズ

ビーブレイクシステムズが様々な現場で感じたシステム業界における現在の景気動向を、現場目線で定期的に発信します。

【システム業界全般について】

12月以降システム開発の案件数は増加傾向にありましたが、年末年始を跨ぐこの時期、例年のことではありますが、多くの企業において業務が停滞気味になるため、案件の情報交換が鈍化し、案件数についても停滞する傾向があるそうです。また1月以降の開発案件は新規案件、既存案件、共に、契約が3月末までの案件が殆どだそうです。これは多くの企業においてプロジェクトの期末を年度末である3月期末としていることが起因しており、こちらについても季節柄の動きで例年通りです。

また基幹業務システムの検討において、iPhone、Android 携帯対応へのニーズが多くみられます。特に社外から入力可能な機能として、営業支援（SFA）、勤怠、作業実績入力機能に対し高い関心が寄せられているように感じます。基幹業務システムの携帯電話対応については、スマートフォンが流行する以前もニーズはありましたが、最近では携帯電話でも特にスマートフォンに限定したもののようです。スマートフォン自体の普及状況については、広告・出版業界において今では殆どの営業担当者が、マーケティングツールとして iPad を活用している姿を目にします。また、スマートフォンビジネスと現在は無縁のシステム開発会社においても、最近では時代に乗り遅れないようにと営業担当者の携帯電話をスマートフォンへ切り替えているという話を聞きます。ある企業ではスマートフォンへ切り替える従業員に対し補助金を提供しているそうですが、もちろんこの背景には将来何らかの形で自社のビジネスに還元したいという狙いがあるのだそうです。

【エンジニアについて】

1月以降のエンジニアの単価は、前年比横ばいです。初級PG（プログラマ）の供給過多は続いています。また今期予算の案件においてSE（システムエンジニア）が担う上流工程の案件の殆どが既に終わっているという理由によりSEの需要は低く、一方で中級PGレベルのエンジニアが担う下流工程の案件は多いため、需要は高いそうです。リーマン・ショック以降エンジニアの単価は低水準の状況が続いていますが、エンジニア単価の下落は、パッケージ製品や情報システムの販売価格にも大きく影響するため、リーマン・ショックを機に2～3割はパッケージ製品の価格についても下がっている可能性があると考えられています。

*Android は、米国 Google Inc. の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

*iPhone、iPad は米国および他国の Apple Inc. の登録商標です。

*その他、文中に記載されている会社名、商品名は各社の登録商標または商標です。

■株式会社ビーブレイクシステムズ 会社概要

住所：〒141-0031 東京都品川区西五反田 2-19-3 五反田第一生命ビル

設立：2002年7月

資本金：6,000万円

代表取締役：白岩次郎

事業内容：統合型基幹業務パッケージ（ERP）「MA-EYES」等のパッケージ販売や、システムの受託開発。

URL：<http://www.bbbreak.co.jp/>

【本レポートに関するお問い合わせ先】

株式会社ビーブレイクシステムズ 担当：岡部、木塚

TEL：03-5487-7855 / FAX：03-5487-7854 / E-MAIL：info@bbbreak.co.jp